

本市における梅毒対策について (令和4年度報告)

1

1. 梅毒についての啓発

令和4年10月誕生！
大阪市保健所公式キャラクター



梅毒予防啓発キャラクター
びっぴい

2

課題に向けた啓発の具体的取り組み

	課題	具体的取り組み
1	10代後半～30代の女性割合が高い 10～20代男性が微増	○ 青少年対象に向けた啓発 ・ 性感染症に関する健康教育 ・ 教職員に向けHIV・性感染症に関する研修 ・ 性感染症予防啓発冊子配布 ・ 大学と連携した啓発 ○ 広域的な普及啓発 ・ WEBを通じた発信 ・ リーフレットによる啓発 ・ 梅毒予防啓発ポケットティッシュによる啓発(各区成人の日記念のつどいで配布)
2	先天梅毒の発生	妊産婦への啓発
3	女性の性風俗産業従事者の割合増加 (特に若年女性)	○ 青少年対象に向けた啓発 ○ 性風俗産業従事者に向けた啓発
4	MSMの割合は依然として 20%前後で横ばい	MSM(Men Who Have Sex with Men:男性間で性的接触を行う者)に向けた啓発
5	無関心層への意識啓発	広域的な普及啓発 ・ WEBを通じた発信 ・ リーフレットによる啓発 ・ 梅毒予防啓発ポケットティッシュによる啓発 ほか

青少年対象に向けた啓発 ①

性感染症に関する健康教育

小中高生や専門学校生等への健康教育は学校からの要請を受けて区保健福祉センターが中心に行っている。

表1 HIV・性感染症に関する健康教育 実施人数（実施回数）

対象	(参考) 平成31年度	(参考) 令和3年度	令和4年度
中学生（一部教職員・保護者を含む）	2,513(19)	635(5)	759(7)
高校生（一部教職員を含む）	589(3)	262(2)	140(1)
大学生	1,070(4)	739(4)	1,248(4)
専門学校生	86(2)	64(1)	99(3)
小学校PTA・保護者等	0(0)	50(1)	0(0)
教職員	94(1)	512(1)	462(1)
合計	4,352(29)	2,262(14)	2,708(16)

青少年対象に向けた啓発 ②

教職員向けHIV・性感染症に関する研修

- ・教育委員会事務局との連携により小・中学校の教職員に対して実施している。
- ・令和4年度は、令和3年度と同様、夏休みを含む時期に各学校で受講できるよう動画視聴型研修を実施した。教育委員会事務局より各校1名以上の受講を呼びかけたため、8割以上の小・中学校が受講した。（小学校 294名・中学校 168名・合計462名）
- ・受講者の内訳は、管理職15.4%、養護教諭50.8%、保健主事6.5%、教諭22.7%であった。
- ・研修受講後、受講内容を生徒の教育に活かすと答えた教職員の割合は、91.5%であった。



教育委員会発行

「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」
小中学校教職員の校内研修として位置づけ

5

青少年対象に向けた啓発 ③

性感染症予防啓発冊子配布

- ・エイズ・性感染症予防啓発冊子「エイズのはなし」を作成し、市立中学校3年生を対象に配付（令和4年度 21,000冊）。
- 冊子をデータ化したデジタルブックを本市ホームページに掲載している。
- ・教員向けに「エイズのはなし」指導の手引き及び資料編を作成し、職員向けのポータルサイトに掲載し活用を促している。



内容：HIV・性感染症の基礎知識、
発生動向、相談窓口など

QRコードを掲載して
本市ホームページの感染予防のページや
相談窓口について案内

令和5年度版



6

青少年対象に向けた啓発 ④

大学と連携した啓発

■大阪経済大学

全学生対象（約7,300名）の定期健康診断時、出入り口付近でポスター掲示と配布物で性感染症予防啓発活動を実施。ポスターやリーフレット、啓発物品を提供した。



令和5年3月1日・2日実施

■森ノ宮医療大学

学務システムにて学生向け（約2,000名）に性感染症に関する情報を発信

【大阪市からのお知らせ】

- 現在大阪府下において梅毒が過去最悪ペースで推移しており、特に10代後半から20代の女性が顕著に増加しています。
- 症状は、感染した場所に赤いできものやしこりができるなどから始まり、進行すると目が見えなくなったり認知症のような症状が出たりします。
- 保健所等でHIV検査と同時に**無料・匿名で検査を受けることができます**。不安がある場合は早期に検査を受けるようにしてください。

*梅毒や検査方法についての案内はこちら

令和4年11月実施

7

広域的な普及啓発 ①

WEBを通じた発信

HIV/エイズ・性感染症ガイド（大阪市ホームページ）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549405.html>



令和4年3月 リニューアル
スマートフォンでも
閲覧・検索しやすくなりました

- ◆ HIV/エイズ・性感染症の情報
- ◆ 検査情報・相談窓口・関連リンク
- ◆ For foreigners
- ◆ パンフレット

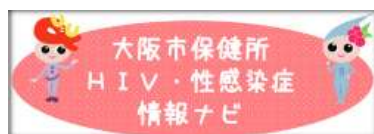
等

検査スケジュール			
検査スケジュール早見表			
	午前	午後	夜間
月	北	淀川	—
火	中央 淀川	CG	—
水	中央	北	—
木	中央	CG即日検査	—
金	北	中央即日検査 (第1のみ)	北 (年3回)
土	—	CG即日検査	—
日	—	CG即日検査	—

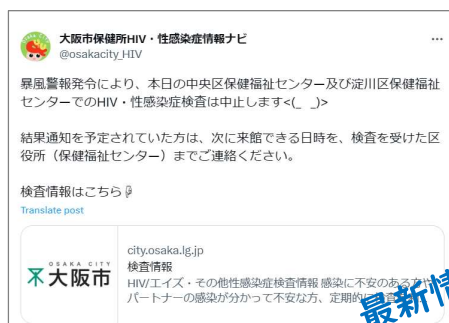
北：北区保健福祉センター
中央：中央区保健福祉センター

広域的な普及啓発 ②

WEBを通じた発信



X (旧Twitter) 専用アカウント
大阪府保健所 HIV・性感染症情報ナビ
https://twitter.com/osakacity_HIV



最新情報を発信



Instagram 専用アカウント NEW
osakacity_hiv_sti
大阪府保健所感染症対策課 (HIV・性感染症専用)
https://www.instagram.com/osakacity_hiv_sti/



動画・リーフレット
などを掲載

9

広域的な普及啓発 ③

リーフレットによる啓発

毎年3月に梅毒啓発リーフレットを作成し、
 各区保健福祉センター及び医療機関へ配架・掲示依頼

令和4年度



平成30年度



令和元年度



令和2年度



令和3年度



広域的な普及啓発 ④

梅毒予防啓発ポケットティッシュによる啓発

- 20,000個作製 各区成人の日記念のつどい（令和5年1月8・9日）等にて配布
- QRコードを掲載し、本市ホームページの特設ページ（若年層向け啓発用）への閲覧を促す



配布先：各区成人の日記念のつどい（23区）
学校での健康教育時（2区）
妊婦教室・母子保健事業（2区）
大阪エイズ啓発フェスティバル
大阪経済大学の学生 健康診断時
北区夜間検査時
コミュニティセンターdista
性風俗産業従事者へのアウトリーチ

11

広域的な普及啓発 ⑤

梅毒啓発ポスターによる啓発



令和4年度
梅毒啓発ポスター

地下鉄 22駅掲示板に掲示



FUNKY MARKET・大阪エイズ啓発フェスティバル
の啓発ブースにて掲示

12

広域的な普及啓発 ⑥

大阪府及び大阪府内保健所設置市との連携

- ・令和4年度 エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪府下保健所設置市による協働事業）で、啓発動画を作製した。
- ・Instagram、本市施設におけるデジタルサイネージへ掲載した。教職員向け研修にてデータ配布等にて活用中。他市においてもホームページやSNSに掲載し活用中。



HIV/エイズ編（約4分）



梅毒編（約4分）



HIV・梅毒等の検査紹介 編
（約3分半 / 30秒）

13

妊産婦への啓発

1. 母子健康手帳発行時に配布している冊子「わくわく～赤ちゃんとの出会い～」に「妊娠中に注意すべき代表的な感染症」として梅毒等の性感染症について掲載。パートナーも血液検査を受けるよう注意喚起している。
2. ホームページにて「妊娠を希望する方や妊娠中に気をつけたい感染症について」として、梅毒等の性感染症について掲載している。



14

性風俗産業従事者に向けた啓発

性風俗産業の従事者がより特化した情報を得られるよう関係団体と連携し、本市ホームページにて、関連団体とリンクさせている。



SWASHホームページ <https://swashweb.net/>

1999年設立以降、当事者である、現・元セックスワーカーとサポーターが集まり、『セックスワーカーが安全で健康に働くこと』ができるよう活動している団体。



セックスワーカーが作り出すメディア「赤い傘」

<https://akaikasa.net/>

記事協力



MSM（男性間で性的接触を行う者）に向けた啓発

MASH大阪と協働した啓発

MSM向け検査フライヤー



ゲイ向けアプリのポップアップ広告にも掲載



ゲイ向け商業施設（ゲイバー、ハッテン場等）約150店舗及び全国の性感染症対策を行うNPO・NGO・保健所等へ配布



MSM向け季刊誌

MASH大阪は、大阪地区のゲイやバイセクシュアル男性（MSM=Men who have sex with men）に対し、HIV/STI感染の予防を促し、セクシュアル・ヘルス（性的健康）を増進させることを目的として活動している団体。

MASH Osakaホームページ
コミュニティセンターdista

<http://www.mash-osaka.com/>
<https://www.dista.osaka/>

2. 検査・相談体制について

17

大阪市におけるH I V・性感染症検査体制

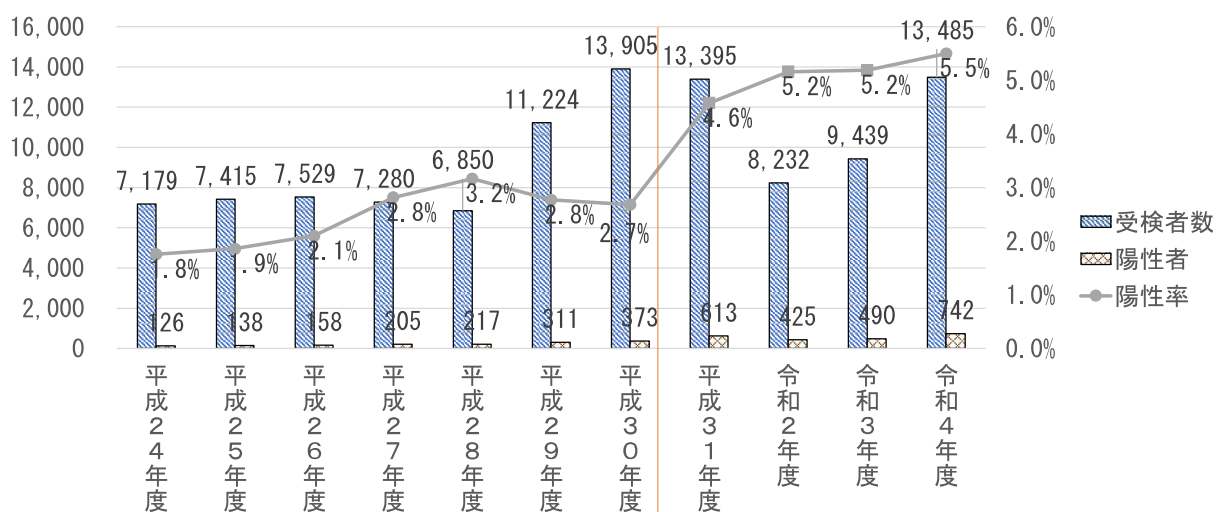
	検査場所・所在地・電話	最寄駅	検査項目	月	火	水	木	金	土	日
区役所 (保健福祉センター)	①北区保健福祉センター	JR環状線 天満駅 または Osaka Metro堺筋線 扇町駅 2-B出口	H I V 梅毒 クラミジア (通常検査)	9:30 ~11:00	—	14:00 ~15:30	—	9:30 ~11:00 原則第5 18:00 ~19:30	—	—
	②中央区保健福祉センター	Osaka Metro 堺筋線・中央線 堺筋本町3番出口	※中央区 第1金曜は H I Vのみ (即日検査)	—	9:30 ~11:00	9:30 ~11:00	9:30 ~11:00	第1のみ 14:00 ~15:00	—	—
	③淀川区保健福祉センター	阪急電鉄 十三駅 東口		14:00 ~15:30	9:30 ~11:00	—	—	—	—	—
委託検査場	④大阪検査相談・啓発・ 支援センター 「choi CAST」 ※大阪府と協働した 委託検査	Osaka Metro御堂筋線 心斎橋駅 5または6番出口 または Osaka Metro堺筋線 長堀橋駅 7番出口	H I V 梅毒 B型肝炎 (通常検査)	—	18:00 ~19:50 (先着順)	—	—	—	—	—
			H I V 梅毒 B型肝炎 (即日検査)	—	—	—	18:00 ~19:30 (予約制)	—	14:00 ~15:30 (予約制)	14:00 ~15:30 (予約制)
M S M 向け	⑤コミュニティセンター dista (北区堂山町)	Osaka Metro 谷町線 中崎町駅 3番出口	H I V 梅毒 (通常検査)	—	—	—	—	—	—	奇数月 第1日曜 15:00 ~18:00

毎日どこかで実施しています

18

本市における梅毒検査受検者数・陽性者数の推移

図1 本市における梅毒検査受検者数・陽性者数の推移



～平成30年度 : RPR（梅毒脂質抗体検査）
陽性の者を梅毒陽性者として計上

平成31年度以降：RPR・TPいずれか
または両方陽性の者を梅毒陽性者として計上

19

本市における相談体制

1 HIV・性感染症相談（面接・電話）

- ・常設健康相談として、保健所・各区保健福祉センターの保健師が対応
- ・検査実施区（北・中央・淀川）では、検査結果返却時の面接において、検査や感染経路などの相談に対応し性感染症予防のための保健指導を実施している。



2 外国語専門電話相談

- ・府と協働でNPO法人CHARMに委託している。
- ・HIV／エイズに関する相談の中で、性感染症（梅毒）に関する相談があった場合も対応している。



すべての人が健康に過ごせる
社会をめざしてHIV陽性の人、
日本語以外の言葉を話す人を
サポートし協働する市民団体

[火曜日] 英語・スペイン語・ポルトガル語
午後4時00分～午後8時00分

[水曜日] 中国語

[木曜日] 英語